

# 京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

## 研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

## 教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

## 社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

## 運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。





# 京都大学の使命



京都大学総長

尾池 和夫

京都大学は、1897年に創立されて以来、自由の学風を重んじ、これまで多くの人材を輩出し教育と研究を通して社会に貢献してきました。この伝統を継承・発展させつつ、京都大学の基本理念のもと、いま地球社会

がかかえる、資源の枯渇、人口の爆発的な増加、地球温暖化、自然災害、土壌汚染等、多元的な諸課題の解決に挑戦して、世界水準の卓越した教育研究を通じて、地球社会の調和ある共存に貢献していきます。また、開かれた大学として社会との連携を強め、学術文化の創造と発展、並びに持続可能な社会の実現に貢献します。

京都盆地にある三つのキャンパスを中心とする京都大学は、京都盆地に生まれ育った文化を大切にしつつ、豊かな教養と人間性、強固な責任感と高い倫理性、国際的視野とコミュニケーション能力、さらには社会・経済の変化に対応し得る幅広い視野と総合的な判断力を備えた人材を育成します。また、安心して快適な教育環境を目指して、キャンパス整備に努めます。

一方、独創的な研究活動を推進し、新しい学問体系の構築や文化の発展に寄与するとともに、世界に開かれた研究拠点の形成に努めます。さらに卓越した総合大学として、研究科、附置研究所、研究センター等のそれぞれの理念や特性に基づき、基礎研究並びに独創的な応用研究を推進することにより、学術文化の創造と発展に貢献するとともに研究成果を広く社会に還元します。

京都大学は、世界や地域に開かれた大学として、諸外国から多数の留学生、外国人研究者を受け入れ、多くの海外の大学等とも共同研究を推進するとともに、産学官連携を推進し、人類社会の発展に貢献します。

